

下肢閉塞性動脈硬化症の大腿膝窩動脈病変における薬剤溶出性ステントを用いた血管内治療と外科的バイパス術の比較検討について

※この研究は、奈良県立医科大学学長の許可を得たうえで実施しています。

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

本研究の目的は、症候性下肢閉塞性動脈硬化症に合併した大腿膝窩動脈（FP: femoropopliteal）病変に対する薬剤溶出性ステントを用いた血管内治療（EVT: endovascular therapy）と外科的バイパス術の治療成績を比較検討するとともに、その関連因子を探索することです。

【対象】

2010年1月から2020年12月までに研究実施機関において、FP病変に対して薬剤溶出性ステントを用いたEVTまたは外科的バイパス術を施行した患者さん。

【調査項目】

〈観察項目〉

対象疾患及び施行した治療内容に加え、研究対象者の年齢・性別等の患者背景情報、併存疾患も含めた病名やその重症度、治療状況、身体所見（身長、体重、血圧）、生理画像検査（ankle-brachial pressure index (ABI)、超音波検査、血管造影検査）の結果、再狭窄、再血行再建の施行、下肢大切断、死亡、他の心血管疾患発生状況、日常診療下で取得し得る情報

なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【研究期間】

学長の許可を受けてから2023年12月31日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【研究責任者】

辻村 卓也

関西労災病院 循環器内科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL : 06-6416-1221

FAX : 06-6419-1870

【研究実施機関および研究責任者】

研究機関	診療科／部局	研究責任者名
関西労災病院	循環器内科	辻村 卓也
小倉記念病院	血管外科	岡崎 仁
小倉記念病院	循環器内科	曾我 芳光
新須磨病院	血管外科	北野 育郎
東京都済生会中央病院	心臓血管外科	藤村 直樹
東京都済生会中央病院	循環器内科	鈴木 健之
奈良県立医科大学付属病院	心臓血管外科	廣瀬 友亮
奈良県立医科大学付属病院	放射線・核医学科	市橋 成夫
松山赤十字病院	血管外科	山岡 輝年
大阪大学大学院医学系研究科	糖尿病病態医療学寄附講座	高原 充佳

※情報の収集は大阪大学以外の研究機関で行う。

【お問い合わせ先】

本調査研究に関するお問い合わせおよび、調査の対象となることを希望しない場合の連絡先

市橋 成夫

奈良県立医科大学付属病院 放射線・核医学科

〒634-8522 奈良県橿原市四条町 840 番地

TEL : 0744-22-3051 (代表)

(2022年1月28日作成)